

目標

周囲の人や音、物等の存在に気づき、興味をもち、関わりを受け入れたり、自ら関わろうとしたりする力を養う。
 個々に応じて日常生活に必要な基礎的な力を身につける。
 集団活動を通して、人間関係を広げ、様々な活動に意欲的に取り組もうとする態度を養う。
 やりがいや達成感を味わうことで自己肯定感を身につけ、支援を受けながら体験的な活動を行う中で、社会生活に関する興味・関心を広げる。

基礎的・汎用的能力		要素	ステージ1	ステージ2
			自己及び他者への積極的関心の形成段階	
人間関係形成・社会形成能力	多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝え、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成しようとする力	コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 感情を、泣く笑うなどの表情や身体表現で表す。 話しかけられると、微笑んだり声を出したりする。 注視追視をして、対象物に手をのぼす。 特定の教師の関わりに気づく。 複数の人に、自分からはたらきかけようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ちょうだい」に対し、相手に物を渡す。 表情や手さし指さしなどのしぐさ、発声により要求する。 特定の人とそれ以外の人との違いがわかる。
		社会性	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の人に興味を示す。 声をかけられると、声を出したり身体を動かしたりする。 教師と友達との関係をとらえて、自分もその関係に入りたいと求める。 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶を発声や身体表現で行う。 バイバイすると手を振るようにして応じる。 周囲の物事に対して、教師や友達と共有したり一緒に参加したりする。
自己理解・自己管理能力	自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力	自己の役割		<ul style="list-style-type: none"> ほめられた行動を積極的に行う。
		主体性	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の物事に気づき興味をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 発声や身体表現により、自分で物を選択しようとする。 周囲の人がしていることを自分もしようとする。
		自己認知・自己管理	<ul style="list-style-type: none"> 快・不快の状態を伝えようとする。 日中の覚醒レベルを高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 一日の生活リズムを整える。
課題対応能力	仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決しようとする力	情報の収集・活用	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の音や話し声に気づく。 目と手が協応して、物をとろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の人がしていることに興味を示す。 ボタンやスイッチに興味を示し、手や指で押したりひねったりして操作する。
		計画・立案・実行		
キャリアプランニング能力	「働くこと」を担う意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取舍選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力	学ぶこと・働くことの意義や役割の理解		<ul style="list-style-type: none"> ほめられていることがわかる。 自分でできる喜びを感じる。周囲の人にも認めてもらいたいと思う。
		将来設計	<ul style="list-style-type: none"> 施設の職員や他の入居者との関わりの中で、安心して生活する。 	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の人に関心をもつ。